



FRANKLIN
TEMPLETON

ブランディワイン・グローバル 株式ファンド（SMA専用）

運用報告書（全体版）

第2期 決算日 2023年9月15日

－ 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「ブランディワイン・グローバル株式ファンド（SMA専用）」は、2023年9月15日に第2期の決算を行いましたので、期中の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社（金融商品取引業者
関東財務局長（金商）第417号）はフランクリン・リソース・インク
傘下の資産運用会社です。

<https://www.franklintempleton.co.jp>

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2021年10月15日～2031年9月12日	
運用方針	主に「ブランディワイン・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場している株式及び不動産投資信託を含む投資信託証券に投資することにより、信託財産の長期的な成長を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	「ブランディワイン・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	ブランディワイン・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンド	日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場している株式及び不動産投資信託を含む投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算時（毎年9月15日、休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。	

当報告書に関するお問合わせ先：
フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

お問合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			ベンチマーク		株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込配分	み騰落	期中騰落率	期中騰落率				
(設定日)	円	円	%		%	%	%	%	百万円
2021年10月15日	10,000	—	—	10,000	—	—	—	—	1
1期(2022年9月15日)	10,732	0	7.3	10,714	7.1	96.7	—	—	348
2期(2023年9月15日)	12,936	0	20.5	12,646	18.0	97.2	—	—	202

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) ベンチマークはMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、円換算ベース）。

(注) MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を含む世界の主要先進国・新興国の株式で構成されています。MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、円換算ベース）は、MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、ドルベース）をもとに、委託会社が独自に円換算したものです。MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックスに対する著作権およびその他知的財産権は、全てMSCI Inc. に帰属します。MSCIでは、かかるデータに基づく投資による損失に一切責任を負いません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2022年9月15日	10,732	—	10,714	—	96.7	—
9月末	9,857	△ 8.2	9,927	△ 7.3	96.3	—
10月末	10,621	△ 1.0	10,736	0.2	96.8	—
11月末	10,749	0.2	10,561	△ 1.4	96.6	—
12月末	10,350	△ 3.6	9,936	△ 7.3	96.9	—
2023年1月末	11,230	4.6	10,365	△ 3.3	96.9	—
2月末	11,545	7.6	10,620	△ 0.9	96.8	—
3月末	11,273	5.0	10,580	△ 1.2	95.8	—
4月末	11,421	6.4	10,819	1.0	97.1	—
5月末	11,671	8.7	11,336	5.8	96.8	—
6月末	12,553	17.0	12,203	13.9	97.5	—
7月末	13,037	21.5	12,398	15.7	97.5	—
8月末	13,038	21.5	12,556	17.2	96.8	—
(期末)						
2023年9月15日	12,936	20.5	12,646	18.0	97.2	—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

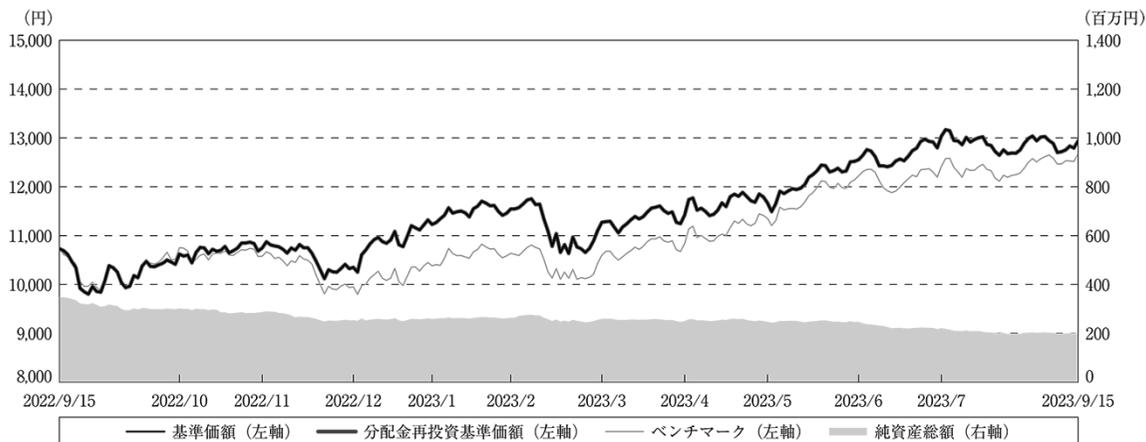
(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) ベンチマークはMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、円換算ベース）。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2022年9月16日～2023年9月15日)



期 首：10,732円

期 末：12,936円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 20.5% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首(2022年9月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) ベンチマークは、MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(税引き後配当込み、円換算ベース)です。

○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)は、プラスとなりました。

株式要因と為替要因がいずれもプラスとなりました。

当期の米国株式相場は、上昇しました。

期の前半は、欧米の積極的な金融引き締め姿勢を受け上値の重いスタートとなりましたが、インフレ改善に対する期待などを背景に次第に株価を買い戻す動きが優勢となりました。

期の半ばは、米銀の相次ぐ経営破綻に加え、スイスの大手金融機関の経営不安が浮上するなど金融システムに対する不安が株価の上値を抑える場面がありました。米金融当局が銀行への支援を拡充する方針を示すなど金融システム不安が和らいだことで、株価は回復基調となりました。

期の後半は、米連邦準備制度理事会（FRB）の金融引き締めが長期化するとの観測が株式相場の重しとなった一方、人工知能（AI）銘柄の将来性に対する期待感から半導体関連銘柄などのハイテク株が上昇したことが相場を押し上げる要因となりました。その後は、米格付け会社フィッチ・レーティングスが米国国債の格下げを発表したことなどから株価はやや上値の重い展開となる場面があったものの、米国景気の底堅さが株価を下支えしました。

米国S&P500指数の推移



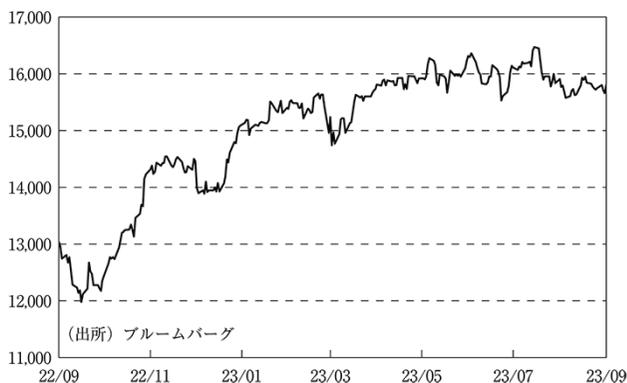
当期のドイツ株式相場は、上昇しました。

期の前半は、欧米の金融引き締めを巡る警戒感から株価は下落して始まりましたが、次第に買い戻しの動きが優勢となりました。その後も欧州中央銀行（ECB）による金融引き締めの継続観測が株価の上値を抑える場面が見られましたが、中国における厳しい新型コロナウイルス規制の緩和への期待や、ユーロ圏の一部経済指標の良好な結果によって景気懸念が和らいだことから、株価は底堅く推移しました。

期の半ばは、米銀の相次ぐ経営破綻に加え、スイスの大手金融機関の経営不安が浮上したことでリスク回避姿勢が強まり、株価は一時下落しましたが、金融危機が欧州全体に広がるなどの過度な懸念には至らず、株価は持ち直しました。

期の後半は、ECBが利上げを継続するとの観測が根強い中、株価は上値の重い展開となりましたが、米国の株式市場が底堅く推移する中で、ドイツ株式市場の下値は限定的となりました。

ドイツ株価指数（DAX）の推移



当期の米ドル・円相場は、米ドル高・円安となりました。

期の前半は、FRBが積極的な利上げを続けるとの見方が根強い中、米ドル買い・円売りが進む場面もありましたが、急激な円安が進む中、過度な円安を阻止する狙いから、政府と日銀が円買い為替介入を実施したことで、米ドル売り・円買いの動きが加速しました。

期の半ばは、欧米の金融システム不安が米ドル売りを招く場面もありましたが、米国経済指標の結果などを受けて米国景気悪化への過度な懸念が後退したことに加え、日銀の植田新総裁が現行の金融緩和策を当面、継続する方針を示したことから、米ドル買い・円売りが改めて優勢となりました。

期の後半は、日銀が金融政策決定会合で長短金利操作（イールドカーブ・コントロール、YCC）の修正案を議論すると報じられ、大規模な金融緩和策の修正観測が浮上したことなどから、米ドルが対円で一時上値の重い展開となりましたが、日銀がYCCの運用見直しを発表した後は、米ドルを買い戻す動きが優勢となりました。



当期のユーロ・円相場は、ユーロ高・円安となりました。

期の前半は、ECBの金融引き締め観測がユーロを下支えした一方、ロシア・ウクライナを巡る地政学的リスクが高まった場面ではユーロ売り・円買いが優勢となりました。中国で新型コロナウイルス対策に対する抗議活動が広がり、同国政治の先行き不透明感や経済の悪化懸念が強まったことも、ユーロ売り・円買い要因となりました。

期の半ばは、欧州委員会がユーロ圏の2023年の実質経済成長率 (GDP) の見通しを上方修正し、欧州経済の先行き懸念が後退したことなどから、ユーロ買い・円売りが優勢となりました。欧米の金融システム不安が強まった局面ではユーロ売り・円買いが進みましたが、日銀が大規模な金融緩和策を維持することを決定したことが、ユーロ買い・円売りの要因となりました。

期の後半も、ユーロ圏と日本の金融政策の差が意識される中、ユーロ買い・円売りの流れは続きましたが、米国と比べたユーロ圏景気の弱さが意識されると、ユーロは対円で上値の重い展開となりました。



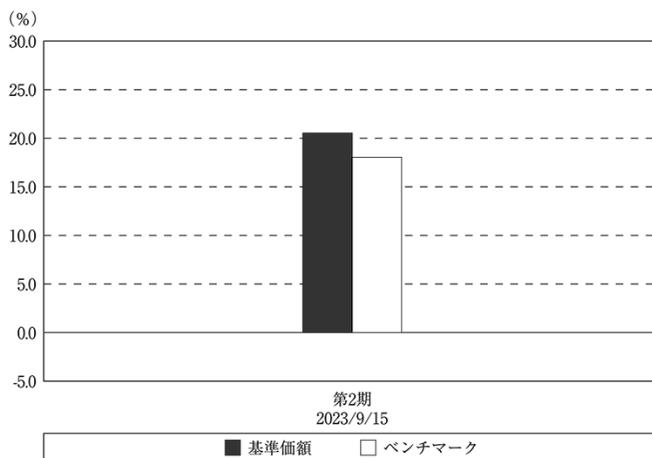
当ファンドは、主に「ブランディワイン・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主に日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場している株式に投資を行うことにより、信託財産の長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。当ファンドの運用においては、マクロ分析に基づくトップダウンの投資判断と、ボトムアップの個別銘柄分析に基づく銘柄選択を合わせて、本源的価値に比べて割安と判断される銘柄を厳選し、ポートフォリオの構築を行いました。MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、円換算ベース）をベンチマークとし、これを中長期的に上回る投資成果を目指しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年9月16日～2023年9月15日)

当ファンドのパフォーマンスはベンチマークをアウトパフォームしました。ユーロ圏株式や金融セクターをオーバーウェイトとしたことのほか、カナダ株式の銘柄選択等が相対パフォーマンスにプラス寄与しました。一方、米国株式や情報技術セクターをアンダーウェイトとしたことが相対パフォーマンスにマイナス寄与となりました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) ベンチマークは、MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、円換算ベース）です。

分配金につきましては、基準価額動向や保有株式等の配当収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第2期
	2022年9月16日～ 2023年9月15日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,936

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

当ファンドは、主に「ブランディワイン・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主に日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場している株式および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、信託財産の長期的成長を目指してまいります。当ファンドの運用においては、マクロ分析に基づくトップダウンの投資判断と、ボトムアップの個別銘柄分析に基づく銘柄選択を合わせて、本源的価値に比べて割安と判断される銘柄を厳選し、ポートフォリオの構築を行います。MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(税引き後配当込み、円換算ベース)をベンチマークとし、これを中長期的に上回る投資成果を目指してまいります(ただし、この目標の達成を約束するものではありません)。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年9月16日～2023年9月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	94	0.825	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(76)	(0.660)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(15)	(0.132)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(4)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	11	0.093	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(11)	(0.093)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	5	0.042	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(5)	(0.042)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	11	0.096	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(5)	(0.048)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(2)	(0.016)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 等 費 用 ）	(4)	(0.031)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	金銭信託預入に係る手数料等
合 計	121	1.056	
期中の平均基準価額は、11,445円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

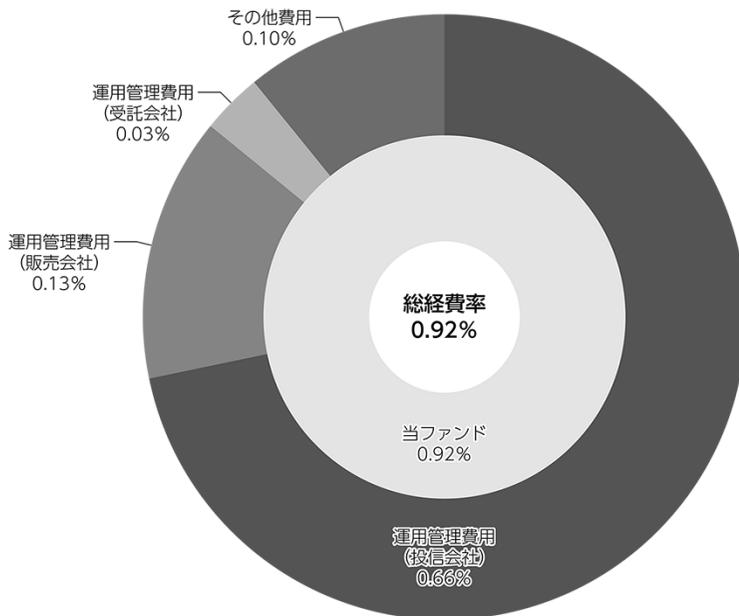
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.92%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年9月16日～2023年9月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ブランディワイン・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンド	千口 24,013	千円 27,672	千口 189,728	千円 219,768

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2022年9月16日～2023年9月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	ブランディワイン・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	26,739,467千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	17,784,499千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.50

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年9月16日～2023年9月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2022年9月16日～2023年9月15日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2022年9月16日～2023年9月15日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2023年9月15日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ブランディワイン・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンド	千口 317,440	千口 151,726	千円 203,464

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2023年9月15日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
ブランディワイン・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンド	千円 203,464	% 100.0
投資信託財産総額	203,464	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) ブランディワイン・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（24,409,601千円）の投資信託財産総額（27,290,287千円）に対する比率は89.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、9月15日における邦貨換算レートは、1米ドル=147.62円、1カナダドル=109.25円、1ブラジルレアル=30.2681円、100チリペソ=16.561円、1ユーロ=157.01円、1イギリスポンド=183.18円、1スイスフラン=164.72円、1スウェーデンクローナ=13.21円、1ノルウェークローネ=13.75円、1ポーランドズロチ=33.8923円、100韓国ウォン=11.12円、1南アフリカランド=7.75円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年9月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	203,464,599
ファンドリターン・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンド(併価額)	203,464,599
(B) 負債	1,043,202
未払信託報酬	982,699
その他未払費用	60,503
(C) 純資産総額(A－B)	202,421,397
元本	156,476,962
次期繰越損益金	45,944,435
(D) 受益権総口数	156,476,962口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,936円

<注記事項>

元本の状況

期首元本額

325,055,312円

期中追加設定元本額

24,760,821円

期中一部解約元本額

193,339,171円

○損益の状況 (2022年9月16日～2023年9月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	35,899,152
売買益	49,367,513
売買損	△13,468,361
(B) 信託報酬等	△2,255,654
(C) 当期損益金(A+B)	33,643,498
(D) 前期繰越損益金	6,576,070
(E) 追加信託差損益金	5,724,867
(配当等相当額)	(954,900)
(売買損益相当額)	(4,769,967)
(F) 計(C+D+E)	45,944,435
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	45,944,435
追加信託差損益金	5,724,867
(配当等相当額)	(1,009,143)
(売買損益相当額)	(4,715,724)
分配準備積立金	40,219,568

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するため要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の96相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決 算 期	当 期
(A) 配 当 等 取 益(費用控除後)	3,828,333円
(B) 有 価 証 券 売 買 等 損 益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	29,815,165
(C) 収 益 調 整 金	5,724,867
(D) 分 配 準 備 積 立 金	6,576,070
分配対象収益額(A+B+C+D)	45,944,435
(1万口当たり収益分配対象額)	(2,936)
収 益 分 配 金	0
(1万口当たり収益分配金)	(0)

ブランディワイン・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンド

運用状況のご報告

第2期 決算日 2023年9月15日

(計算期間：2022年9月16日～2023年9月15日)

－ 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「ブランディワイン・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンド」の第2期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限（2021年9月24日設定）
運 用 方 針	主として日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場している株式及び不動産投資信託を含む投資信託証券に投資することにより、信託財産の長期的な成長を目指します。
主 要 運 用 対 象	日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場している株式及び不動産投資信託を含む投資信託証券を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	騰落	中率	騰落	中率				
(設定日) 2021年9月24日	円 10,000	% —	10,000	% —	% —	% —	% —	百万円 1
1期(2022年9月15日)	11,033	10.3	10,989	9.9	96.3	—	—	16,141
2期(2023年9月15日)	13,410	21.5	12,971	18.0	96.7	—	—	27,261

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) ベンチマークはMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、円換算ベース）。

(注) MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を含む世界の主要先進国・新興国の株式で構成されています。MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、円換算ベース）は、MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、ドルベース）をもとに、委託会社が独自に円換算したものです。MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックスに対する著作権およびその他知的財産権は、全てMSCI Inc. に帰属します。MSCIでは、かかるデータに基づく投資による損失に一切責任を負いません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		株式組入比率	株式先物比率
	騰落	率	騰落	率		
(期首) 2022年9月15日	円 11,033	% —	10,989	% —	96.3	% —
9月末	10,137	△ 8.1	10,181	△ 7.3	96.3	—
10月末	10,931	△ 0.9	11,011	0.2	96.7	—
11月末	11,070	0.3	10,832	△ 1.4	96.5	—
12月末	10,668	△ 3.3	10,191	△ 7.3	96.6	—
2023年1月末	11,581	5.0	10,630	△ 3.3	96.5	—
2月末	11,912	8.0	10,892	△ 0.9	96.4	—
3月末	11,642	5.5	10,852	△ 1.2	95.8	—
4月末	11,803	7.0	11,096	1.0	97.0	—
5月末	12,071	9.4	11,627	5.8	96.6	—
6月末	12,990	17.7	12,516	13.9	97.3	—
7月末	13,499	22.4	12,716	15.7	97.2	—
8月末	13,510	22.5	12,878	17.2	96.3	—
(期末) 2023年9月15日	13,410	21.5	12,971	18.0	96.7	—

(注) 騰落率は期首比です。

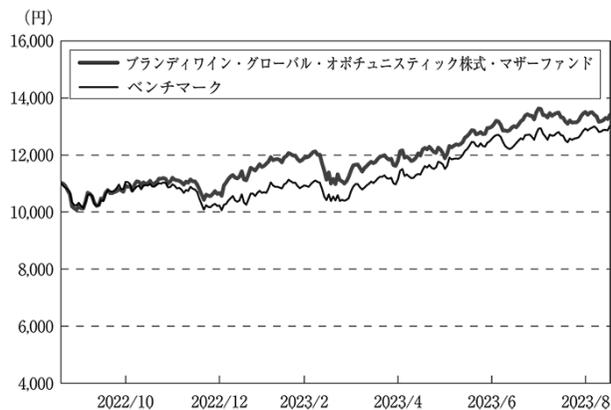
(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) ベンチマークはMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、円換算ベース）。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2022年9月16日～2023年9月15日)



○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）は、プラスとなりました。
株式要因と為替要因がいずれもプラスとなりました。

当期の米国株式相場は、上昇しました。

期の前半は、欧米の積極的な金融引き締め姿勢を受け上値の重いスタートとなりましたが、インフレ改善に対する期待などを背景に次第に株価を買い戻す動きが優勢となりました。

期の半ばは、米銀の相次ぐ経営破綻に加え、スイスの大手金融機関の経営不安が浮上するなど金融システムに対する不安が株価の上値を抑える場面がありましたが、米金融当局が銀行への支援を拡充する方針を示すなど金融システム不安が和らいだことで、株価は回復基調となりました。

期の後半は、米連邦準備制度理事会（FRB）の金融引き締めが長期化するとの観測が株式相場の重しとなった一方、人工知能（AI）銘柄の将来性に対する期待感から半導体関連銘柄などのハイテク株が上昇したことが相場を押し上げる要因となりました。その後は、米格付け会社フィッチ・レーティングスが米国国債の格下げを発表したことなどから株価はやや上値の重い展開となる場面があったものの、米国景気の底堅さが株価を下支えしました。

当期のドイツ株式相場は、上昇しました。

期の前半は、欧米の金融引き締めを巡る警戒感から株価は下落して始まりましたが、次第に買い戻しの動きが優勢となりました。その後も欧州中央銀行（ECB）による金融引き締めの継続観測が株価の上値を抑える場面が見られましたが、中国における厳しい新型コロナウイルス規制の緩和への期待や、ユーロ圏の一部経済指標の良好な結果によって景気懸念が和らいだことなどから、株価は底堅く推移しました。

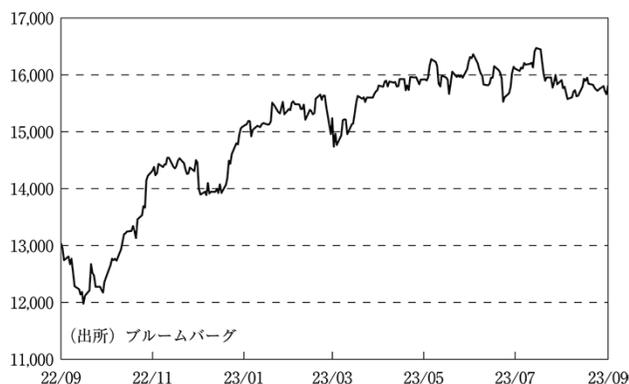
期の半ばは、米銀の相次ぐ経営破綻に加え、スイスの大手金融機関の経営不安が浮上したことでリスク回避姿勢が強まり、株価は一時下落しましたが、金融危機が欧州全体に広がるとの過度な懸念には至らず、株価は持ち直しました。

期の後半は、ECBが利上げを継続するとの観測が根強い中、株価は上値の重い展開となりましたが、米国の株式市場が底堅く推移する中で、ドイツ株式市場の下値は限定的となりました。

米国S&P500指数の推移



ドイツ株価指数（DAX）の推移



当期の米ドル・円相場は、米ドル高・円安となりました。

期の前半は、FRBが積極的な利上げを続けるとの見方が根強い中、米ドル買い・円売りが進む場面もありましたが、急激な円安が進む中、過度な円安を阻止する狙いから、政府と日銀が円買い為替介入を実施したことで、米ドル売り・円買いの動きが加速しました。

期の半ばは、欧米の金融システム不安が米ドル売りを招く場面もありましたが、米国経済指標の結果などを受けて米国景気悪化への過度な懸念が後退したことに加え、日銀の植田新総裁が現行の金融緩和策を当面、継続する方針を示したことから、米ドル買い・円売りが改めて優勢となりました。

期の後半は、日銀が金融政策決定会合で長短金利操作（イールドカーブ・コントロール、YCC）の修正案を議論すると報じられ、大規模な金融緩和策の修正観測が浮上したことなどから、米ドルが対円で一時上値の重い展開となりましたが、日銀がYCCの運用見直しを発表した後は、米ドルを買い戻す動きが優勢となりました。

当期のユーロ・円相場は、ユーロ高・円安となりました。

期の前半は、ECBの金融引き締め観測がユーロを下支えした一方、ロシア・ウクライナを巡る地政学的リスクが高まった場面ではユーロ売り・円買いが優勢となりました。中国で新型コロナウイルス対策に対する抗議活動が広がり、同国政治の先行き不透明感や経済の悪化懸念が強まったことも、ユーロ売り・円買い要因となりました。

期の半ばは、欧州委員会がユーロ圏の2023年の実質経済成長率（GDP）の見通しを上方修正し、欧州経済の先行き懸念が後退したことなどから、ユーロ買い・円売りが優勢となりました。欧米の金融システム不安が強まった局面ではユーロ売り・円買いが進みましたが、日銀が大規模な金融緩和策を維持することを決定したことなどが、ユーロ買い・円売りの要因となりました。

期の後半も、ユーロ圏と日本の金融政策の差が意識される中、ユーロ買い・円売りの流れは続きましたが、米国と比べたユーロ圏景気の弱さが意識されると、ユーロは対円で上値の重い展開となりました。



当ファンドのポートフォリオ

主として日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場している株式に投資を行うことにより、信託財産の長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。当ファンドの運用においては、マクロ分析に基づくトップダウンの投資判断と、ボトムアップの個別銘柄分析に基づく銘柄選択を合わせて、本源的価値に比べて割安と判断される銘柄を厳選し、ポートフォリオの構築を行いました。MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、円換算ベース）をベンチマークとし、これを中長期的に上回る投資成果を目指しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドのパフォーマンスはベンチマークをアウトパフォームしました。ユーロ圏株式や金融セクターをオーバーウェイトとしたことのほか、カナダ株式の銘柄選択等が相対パフォーマンスにプラス寄与しました。一方、米国株式や情報技術セクターをアンダーウェイトとしたことが相対パフォーマンスにマイナス寄与となりました。

○今後の運用方針

主として日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場している株式および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、信託財産の長期的成長を目指してまいります。当ファンドの運用においては、マクロ分析に基づくトップダウンの投資判断と、ボトムアップの個別銘柄分析に基づく銘柄選択を合わせて、本源的価値に比べて割安と判断される銘柄を厳選し、ポートフォリオの構築を行います。MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、円換算ベース）をベンチマークとし、これを中長期的に上回る投資成果を目指してまいります（ただし、この目標の達成を約束するものではありません）。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年9月16日～2023年9月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 12 (12)	% 0.105 (0.105)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	6 (6)	0.053 (0.053)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	5 (5) (0)	0.046 (0.045) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用 金銭信託預入に係る手数料等
合 計	23	0.204	
期中の平均基準価額は、11,817円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年9月16日～2023年9月15日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株 1,504 (1,398)	千円 2,046,111 (一)	千株 467	千円 1,303,983
	アメリカ	百株 14,103	千米ドル 67,713	百株 5,096	千米ドル 36,291
外 国	カナダ	762	千カナダドル 4,194	2,280	千カナダドル 4,458
	メキシコ	119	千メキシコペソ 1,196	2,554	千メキシコペソ 29,496
	ブラジル	7,678	千ブラジルレアル 20,312	4,195	千ブラジルレアル 8,067
	チリ	66,175	千チリペソ 548,603	619	千チリペソ 4,772
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	1,065	3,320	246 (一)	516 (98)
	フランス	689	4,785	1,519	4,144
	オランダ	1,403	3,489	6	24
	スペイン	3,657	1,232	2,482	788
	イギリス	18,379	千イギリスポンド 7,663	8,755	千イギリスポンド 3,907
	スイス	79	千スイスフラン 832	10	千スイスフラン 109
	スウェーデン	1,101	千スウェーデンクローナ 20,652	1,072	千スウェーデンクローナ 24,966
	ノルウェー	1,361	千ノルウェークローネ 25,456	1,091	千ノルウェークローネ 14,050
	ポーランド	3	千ポーランドズロチ 86	152	千ポーランドズロチ 5,553
	韓国	348	千韓国ウォン 4,505,771	329	千韓国ウォン 572,534
	南アフリカ	51	千南アフリカランド 374	2,022	千南アフリカランド 14,534

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2022年9月16日～2023年9月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	26,739,467千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	17,784,499千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.50

(注) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年9月16日～2023年9月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年9月15日現在)

国内株式

銘	柄	期首(前期末)	当 期		末
		株 数	株 数	評 価	額
		千株	千株		千円
食料品 (－%)					
森永製菓		30.1	—		—
医薬品 (8.6%)					
小野薬品工業		63.5	70.7		207,681
金属製品 (－%)					
三和ホールディングス		124.6	—		—
機械 (10.2%)					
ナブテスコ		—	89.5		246,975
電気機器 (16.1%)					
村田製作所		30.6	21.3		175,597
小糸製作所		37.4	90.2		215,081
輸送用機器 (－%)					
ヤマハ発動機		93.8	—		—
倉庫・運輸関連業 (4.2%)					
上組		57.5	31.8		102,523
情報・通信業 (17.1%)					
日本電信電話		—	2,317.4		415,046
卸売業 (11.0%)					
メディopalホールディングス		—	99.4		265,497
小売業 (32.8%)					
ネクステージ		—	119.5		256,686
しまむら		—	24.4		371,734
イズミ		32.5	41.3		165,530
合 計	株 数 ・ 金 額	470	2,905		2,422,352
	銘 柄 数 < 比 率 >	8	10		< 8.9% >

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する株式評価額の比率。

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
ALASKA AIR GROUP INC	255	—	—	—	資本財・サービス	
ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	343	575	5,062	747,333	一般消費財・サービス	
ALLSTATE CORP	—	214	2,365	349,234	金融	
ALPHABET INC-CL A	—	168	2,332	344,324	コミュニケーション・サービス	
BAIDU INC - SPON ADR	187	386	5,303	782,854	コミュニケーション・サービス	
BANCO DE CHILE-ADR	677	602	1,257	185,611	金融	
BAXTER INTERNATIONAL INC	—	709	2,775	409,754	ヘルスケア	
BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	49	57	2,110	311,509	金融	
BOOKING HOLDINGS INC	6	—	—	—	一般消費財・サービス	
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	231	275	1,640	242,205	ヘルスケア	
CVS HEALTH CORP	261	678	4,748	701,002	ヘルスケア	
CITIGROUP INC	274	642	2,772	409,228	金融	
CONOCOPHILLIPS	78	201	2,509	370,422	エネルギー	
CROWN HOLDINGS INC	125	239	2,201	325,018	素材	
DR HORTON INC	171	—	—	—	一般消費財・サービス	
DELTA AIR LINES INC	—	907	3,567	526,594	資本財・サービス	
WALT DISNEY CO/THE	156	300	2,536	374,427	コミュニケーション・サービス	
EXELIXIS INC	—	458	1,019	150,567	ヘルスケア	
META PLATFORMS INC-A	117	—	—	—	コミュニケーション・サービス	
FEDEX CORP	94	101	2,608	385,043	資本財・サービス	
GENERAL MOTORS CO	304	591	1,991	294,009	一般消費財・サービス	
GLOBAL PAYMENTS INC	224	371	4,668	689,128	金融	
JPMORGAN CHASE & CO	79	—	—	—	金融	
KROGER CO	—	755	3,457	510,343	生活必需品	
MICRON TECHNOLOGY INC	—	476	3,417	504,447	情報技術	
NETEASE INC-ADR	193	—	—	—	コミュニケーション・サービス	
NEW YORK COMMUNITY BANCORP	—	2,725	3,238	478,048	金融	
NEWMONT CORP	275	—	—	—	素材	
PFIZER INC	118	—	—	—	ヘルスケア	
PULTEGROUP INC	197	—	—	—	一般消費財・サービス	
REINSURANCE GROUP OF AMERICA	121	—	—	—	金融	
SCHWAB (CHARLES) CORP	282	349	2,088	308,347	金融	
T-MOBILE US INC	156	242	3,467	511,937	コミュニケーション・サービス	
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	195	361	3,307	488,180	情報技術	
TARGET CORP	—	136	1,696	250,492	生活必需品	
TERADYNE INC	165	255	2,506	369,966	情報技術	
TRIP.COM GROUP LTD-ADR	—	663	2,362	348,816	一般消費財・サービス	
TYSON FOODS INC-CL A	—	410	2,212	326,588	生活必需品	
VIATRIS INC	885	1,212	1,191	175,873	ヘルスケア	
WAYFAIR INC- CLASS A	217	—	—	—	一般消費財・サービス	
WELLS FARGO & CO	567	796	3,428	506,172	金融	
ZIMMER BIOMET HOLDINGS INC	82	—	—	—	ヘルスケア	
HORIZON THERAPEUTICS PLC	186	—	—	—	ヘルスケア	
JAZZ PHARMACEUTICALS PLC	79	79	1,062	156,890	ヘルスケア	
MEDTRONIC PLC	200	348	2,856	421,720	ヘルスケア	
WILLIS TOWERS WATSON PLC	80	107	2,210	326,258	金融	
AERCAP HOLDINGS NV	308	554	3,412	503,701	資本財・サービス	
小 計	株 数	金 額	7,949	16,955	93,388	13,786,055
銘 柄 数 < 比 率 >	36	34	—	< 50.6% >		
(カナダ)			千カナダドル			
BARRICK GOLD CORP	563	—	—	—	—	素材

銘柄	株数	期首(前期末)			業種等	
		株数	当 期 末			
			株数	評 価 額		額
		外貨建金額	邦貨換算金額			
(カナダ)	百株	百株	千カナダドル	千円		
CANADIAN NATURAL RESOURCES	138	572	5,008	547,203	エネルギー	
MTY FOOD GROUP INC	355	276	1,692	184,928	一般消費財・サービス	
ALAMOS GOLD INC-CLASS A	1,310	—	—	—	素材	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,367	848	6,701	732,131	
		4	2	—	<2.7%>	
(メキシコ)			千メキシコペソ			
QUALITAS CONTROLADORA SAB CV	2,435	—	—	—	金融	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,435	—	—	—	
		1	—	—	<—%>	
(ブラジル)			千ブラジルレアル			
ITAU UNIBANCO HOLDING S-PREF	1,982	4,880	13,490	408,330	金融	
MULTIPLAN EMPREENDIMENTOS	—	4,528	11,854	358,807	不動産	
SENDAS DISTRIBUIDORA SA	3,943	—	—	—	生活必需品	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	5,925	9,408	25,344	767,137	
		2	2	—	<2.8%>	
(チリ)			千チリペソ			
BANCO DE CHILE	—	65,556	609,015	100,859	金融	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	—	65,556	609,015	100,859	
		—	1	—	<0.4%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
DHL GROUP	—	512	2,141	336,187	資本財・サービス	
DEUTSCHE TELEKOM AG-REG	1,442	1,749	3,626	569,374	コミュニケーション・サービス	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,442	2,261	5,767	905,561	
		1	2	—	<3.3%>	
(ユーロ…フランス)						
SEB SA	95	162	1,512	237,449	一般消費財・サービス	
KERING	36	50	2,334	366,612	一般消費財・サービス	
SODEXO SA	221	—	—	—	一般消費財・サービス	
CREDIT AGRICOLE SA	1,059	—	—	—	金融	
BNP PARIBAS	706	835	5,124	804,616	金融	
COMPAGNIE DE SAINT GOBAIN	590	830	4,699	737,930	資本財・サービス	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,710	1,880	13,671	2,146,608	
		6	4	—	<7.9%>	
(ユーロ…オランダ)						
KONINKLIJKE PHILIPS NV	—	1,076	2,147	337,196	ヘルスケア	
AALBERTS NV	—	321	1,165	183,025	資本財・サービス	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	—	1,397	3,313	520,222	
		—	2	—	<1.9%>	
(ユーロ…スペイン)						
BANCO SANTANDER SA	10,076	11,250	3,966	622,769	金融	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	10,076	11,250	3,966	622,769	
		1	1	—	<2.3%>	
ユ ー ロ 計	株数・金額 銘柄数<比率>	14,229	16,790	26,719	4,195,162	
		8	9	—	<15.4%>	
(イギリス)			千イギリスポンド			
BARRATT DEVELOPMENTS PLC	1,797	2,386	1,076	197,128	一般消費財・サービス	
BELLWAY PLC	545	—	—	—	一般消費財・サービス	
BP PLC	—	6,602	3,460	633,822	エネルギー	
TESCO PLC	4,117	9,830	2,623	480,619	生活必需品	
HALEON PLC	3,646	—	—	—	生活必需品	
GSK PLC	1,065	1,977	2,940	538,598	ヘルスケア	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	11,172	20,795	10,100	1,850,168	
		5	4	—	<6.8%>	

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額	比率	
	株数	株数	外貨建金額	邦貨換算金額	
(スイス) NESTLE SA-REG	189	258	千スイスフラン 2,717	千円 447,698	生活必需品
小計	189	258	2,717	447,698	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.6%>
(スウェーデン) AUTOLIV INC-SWED DEP RECEIPT HUSQVARNA AB-B SHS	272 3,038	233 3,106	千スウェーデンクローナ 24,712 26,696	326,455 352,659	一般消費財・サービス 資本財・サービス
小計	3,310	3,339	51,409	679,115	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<2.5%>
(ノルウェー) SUBSEA 7 SA DNB BANK ASA	1,485 —	782 973	千ノルウェークローネ 11,229 21,216	154,411 291,725	エネルギー 金融
小計	1,485	1,755	32,446	446,137	
	銘柄数<比率>	1	2	—	<1.6%>
(ポーランド) DINO POLSKA SA	149	—	千ポーランドズロチ —	—	生活必需品
小計	149	—	—	—	
	銘柄数<比率>	1	—	—	<—%>
(韓国) HYUNDAI MOTOR CO LG CORP NICE HOLDINGS CO LTD	— 484 302	136 669	千韓国ウォン 2,593,520 5,691,940	288,399 632,943	一般消費財・サービス 資本財・サービス 金融
小計	787	805	8,285,460	921,343	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<3.4%>
(南アフリカ) AVI LTD	1,971	—	千南アフリカランド —	—	生活必需品
小計	1,971	—	—	—	
	銘柄数<比率>	1	—	—	<—%>
合計	51,973	136,515	—	23,925,809	
	銘柄数<比率>	64	59	—	<87.8%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年9月15日現在)

項目	期末	
	評価額	比率
株式	千円 26,348,162	% 96.5
コール・ローン等、その他	942,125	3.5
投資信託財産総額	27,290,287	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(24,409,601千円)の投資信託財産総額(27,290,287千円)に対する比率は89.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、9月15日における邦貨換算レートは、1米ドル=147.62円、1カナダドル=109.25円、1ブラジルレアル=30.2681円、100チリペソ=16.561円、1ユーロ=157.01円、1イギリスポンド=183.18円、1スイスフラン=164.72円、1スウェーデンクローナ=13.21円、1ノルウェークローネ=13.75円、1ポーランドズロチ=33.8923円、100韓国ウォン=11.12円、1南アフリカランド=7.75円です。

○特定資産の価格等の調査

(2022年9月16日～2023年9月15日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年9月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	27,290,287,678
コール・ローン等	901,132,774
株式(評価額)	26,348,162,368
未収配当金	40,992,536
(B) 負債	29,089,365
未払金	29,028,037
未払解約金	59,999
未払利息	1,329
(C) 純資産総額(A－B)	27,261,198,313
元本	20,328,295,878
次期繰越損益金	6,932,902,435
(D) 受益権総口数	20,328,295,878口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,410円

<注記事項>

(注) 元本の状況

期首元本額	14,629,769,035円
期中追加設定元本額	7,051,848,252円
期中一部解約元本額	1,353,321,409円

(注) 期末における元本の内訳

ブランディワイン・グローバル株式ファンド(適格機関投資家専用)	20,176,569,853円
ブランディワイン・グローバル株式ファンド(SMA専用)	151,726,025円

○損益の状況 (2022年9月16日～2023年9月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	422,448,908
受取配当金	409,247,407
受取利息	13,489,821
その他収益金	5,454
支払利息	△ 293,774
(B) 有価証券売買損益	3,233,152,740
売買益	4,278,531,371
売買損	△1,045,378,631
(C) 保管費用等	△ 8,787,374
(D) 当期損益金(A+B+C)	3,646,814,274
(E) 前期繰越損益金	1,511,609,602
(F) 追加信託差損益金	1,930,488,317
(G) 解約差損益金	△ 156,009,758
(H) 計(D+E+F+G)	6,932,902,435
次期繰越損益金(H)	6,932,902,435

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。